ジオタグ画像テーブルの表示



_ D X

ジオタグ画像データベースの作成処理によって作成したデジタル写真のテーブルは、他のデータベーステーブルと同様、 単一レコードや表形式で表示することができます。どちらの表示方法でも、写真のテキストや数値の属性情報だけでなく写真自体も表示することができます。写真の表示は、埋め込まれた写真だけでなく、外にリンクされた画像ファイルでも可能です。

テーブルの単一レコード表示 (1つのレコードのフィールド名や値が縦のコラム表示されます)では、現在レコードの画像がテーブルのウィンドウの下部に表示されます。単一レコード表示ウィンドウの大きさを変えると、画像も自動的にリサイズされます。画像の上でマウスの右ボタンをクリックして、画像の全体表示や拡大、縮小、1倍表示ができます。また、マウスのホイールを回転しても拡大、縮小ができ、左ボタンでドラッグすることで画像を移動させることもできます。

表形式のテーブル表示では写真を表示するのにいくつかの方法があります。写真の画像フィールドの上でマウスカーソルを止めると、データチップが飛び出て画像のサムネイルを表示します。埋め込まれた画像を持ったテーブルにおいては、画像ごとにサムネイルが保存されておりデータチップ画像を作るのに使われます。オリジナル画像ファイルへリンクされているテーブルにおいては、データチップのサムネイルは必要時に外部のファイルから作成されます。画像フィールドの上

でマウスの右ボタンをクリックしてメニューを選択すると、画像を別々のイメージビューワウィンドウに表示させることができます。[View Image(画像の表示)]メニューは、現在開いているビューワウィンドウの中に選択された画像を開きます (何も開かれていない場合はビューワウィンドウを開きます)。[View Image in new window(新規ウィンドウに画像を表示)]オプションは、違う写真を別々のウィンドウに開くことができます。各ビューワウィンドウのタイトルバーには、表示している画像の日付、時刻、説明(画像テーブルのDescriptionフィールド)が表示されます。ビューワウィンドウは必要に応じてリサイズすることができ、アイコンボタンにはズーム機能があります。マウスのホイールによる画像のズームや左ボタンによる画像の移動は、単一レコード表示ウィンドウでも行うことができます。画像ビューワは、テーブルに埋め込まれた画像の他に、リンクされたJPEGやTIFF、PNGファイルなども表示することができます。ジオタグの付いた写真テーブルの作成に関する更に詳しい情報は、テクニカルガイドの"Create Geotagged Image Table(ジオタグ付き画像データベースの作成)"を参照して下さい。

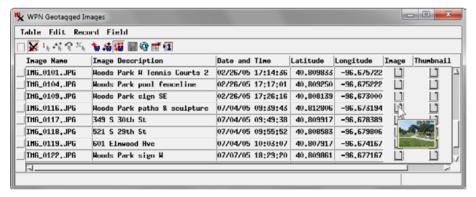


Table Edit Record Value Nane Units Inage Name IMG_0116.JPG Image Description Hoods Park paths 8 Date and Time 07/04/05 09:39:43 Latitude 40,812806 -96.673194 Longitude 2147483,750000 Elevation [Inage] Thumbnail ▶ [Binaru] Zoom to Extents Zoom In Zoon Out Zoon 1X Resample Bu View Metadata. Previous Photo Next Photo

WPN Geotagged Images

ジオタグ付画像テーブルの単一レコード表示は、現在のレコードの画像を同じウィンドウの下部に自動的に表示します。画像の上で右クリックすると、ズームやその他のオプションを選択できるメニューが現れます。

ジオタグ付画像テーブルの表形式の表示では、画像フィールドの行の上でカーソルを止めるとデータチップが自動的に現れ、画像のサムネイルが表示されます。この例では埋め込まれた画像を持つテーブルが表示されています。

表形式の表示の画像フィールドの上で右クリックすると、別々の画像ビューワウィンドウ(リサイズ可能)に画像を表示することができます。ビューワウィンドウには画像の全体表示や拡大、縮小、1倍表示ができるボタンがあります。マウスホイールを回転して画像の拡大、縮小を行うことができます。画像の上で左クリックしてドラッグすると、拡大した画像を移動することができます。





左上の画像ウィンドウは全体表示、右上は1倍表示に拡大し、移動したものです。